



吾平山上陵には、年明けとともに多くの人が初詣に訪れました。



1月1日、吾平町の大隅広域公園の正面入口にある高さ6mのジャンボ門松と干支であるねずみをモチーフにした看板の前は、写真撮影のスポットになっていました。



1月1日、細山田と上小原の両校区において「新春歩こう会」が開催され、多くの人が歩き初めを楽しみました。



1月1日、輝北運動場では、「初日とともに走ろう会」が開催され、雪の舞うなか、ジョギングを楽しみました。



1月1日から2日にかけて、吾平町上名立元地区で約130年前に始まったとされる伝統行事「白起こし」が行われました。



1月4日、市武道館では、約100人が柔道の初稽古で汗を流しました。

新春の風景

あけまして
おめでと
うござい
ます



あけましておめでとうございます。
市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、中心市街地活性化の核施設となる「リナシティかのや」をはじめ、日本の規模を誇る生漕スポーツ振興の拠点「かのやグラウンド・ゴルフ場」や、産業振興の拠点「鹿屋市産業支援センター」などがオープンいたしました。

このような取り組みにより大隅地域における鹿屋市の拠点は、ますます高まっております。地域資源を生かした産業振興や、県内有数の観光拠点として定着した「かのやばら園」などと併せて、交流の促進による地域活性化を進めているところでございます。

また、市民の皆様の生活に密着した道路整備や学校等の教育環境の充実など、都市としての基盤整備を推進し、新市としての一体性の確保と均衡ある発展に向けた取り組みを進めてまいりました。

このように、各種の施策、事業を展開してきましたことは、市民の皆様のおかげです。心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

さて、新市誕生から3年目を迎える本年は、市民の皆様のご意見をいただくなどから策定作業を進めてきた、今後10年間の市政運営の指針となる鹿屋市総合計画がスタートいたします。

地方を取り巻く環境は、不透明な社会経済情勢や、三位一体改革等に伴う財政状況の悪化など、これまでにない厳しい情勢にあります。総合計画に基づきながら、地域の資源や特性、可能性を生かし、市民の皆様との協働のもとで内発型産業の創出・振興と、様々な交流促進による交流人口の増加など、さらなる地域経済の活性化を進め、都市間、地域間競争を生き抜いていける、自立した自治体を形成してまいります。

本年におきましても市民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が市民の皆様にとって輝かしい飛躍の年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

鹿屋市長 山下 栄

登見の丘(輝北町市成)から見る朝日